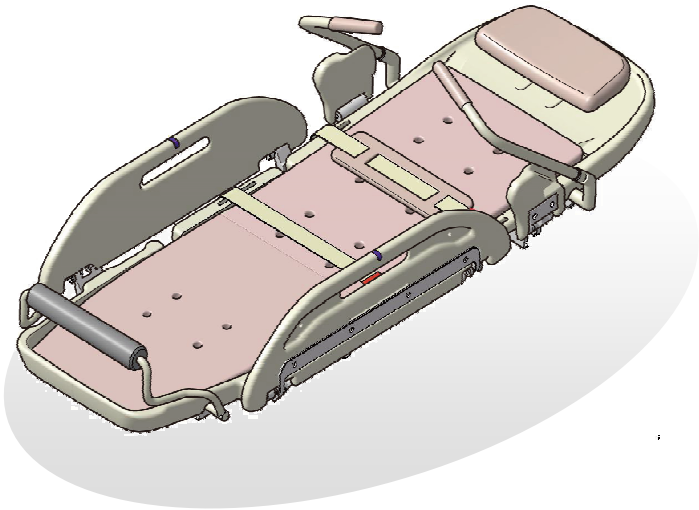
SAKAImed

取扱説明書

ロベリア用

担　架

WS－370



保存用

＊このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

＊正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

＊「取扱説明書」はいつでも使用できるように、見やすい所に大切に保管してください。

01-139⑤K9

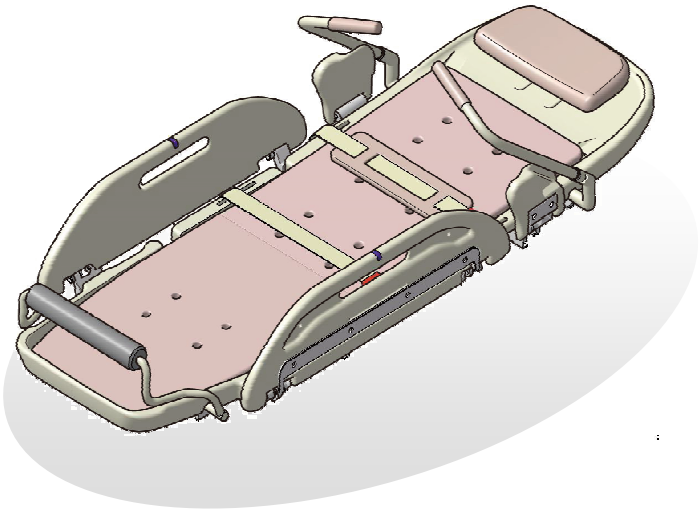
SAKAImed

取扱説明書

ロベリア用

担　架

WS－370



現場用

＊このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

＊正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

＊「取扱説明書」はいつでも使用できるように、見やすい所に大切に保管してください。

01-139⑤K9

もくじ

安全上のご注意 …… 3
各部の名称 …… 6
ご使用になる前に …… 7
　適用製品 …… 7
　入浴の操作方法 …… 7
操作方法（各部） …… 8
　安全ベルト …… 8
　下肢用サイドフェンス …… 8
　上肢用サイドフェンス/手すり …… 9
　背もたれのリクライニング …… 10
　枕 …… 11
　下肢部の屈曲 …… 12
　足当て …… 12
　担架の移動 …… 13
　担架上の作業手順と注意点 …… 14
日常のお手入れ …… 15
　清掃 …… 15
　マットの着脱 …… 15
機器の保守・点検について …… 16
保証とアフターサービス …… 17
仕　様 …… 18

用 途

本製品は、当社浴槽『ロベリア』(ROB-370)専用の担架です。ストレッチャー・洗浄台と組み合わせて使用します。

特 長

●曲面で構成された機能的なデザインです。

・頭側、足側の握りやすい形状

・水はけの良さ

●安全性が更に向上しました。

・手すりと上肢用サイドフェンスで上肢を二重に保持

・上肢、下肢の 2 か所についたサイドフェンス

●入浴者の身体に合った快適な入浴ができます。

・下肢浮き上がり防止機構付足当て

・背もたれのリクライニング

・下肢部の屈曲、固定

・枕の調節

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

ベルト・マット

⚠警告

担架に乗せたら、必ず２本の安全ベルトを使用する

- ベルトをしないと、入浴者が動いて担架から落下したり、手足がはみだして挟み込んだりします。入浴中には浮力により身体が浮き上がって不安定になり水没する等の危険もあります。
- ベルトの固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトで擦れてけがをする恐れがあります。

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

移乗などのためにやむを得ず外した場合、落下する恐れがありますのでとっさの対応が出来るように入浴者のそばから離れないでください。体位変換後や移乗後は直ぐに安全ベルトを再装着してください。

皮膚の弱い入浴者の場合ベルト等との接触部分にタオル等を使う

虚弱高齢者や麻痺等で痩せ細るなどして皮膚が薄くなり、もろくなっている入浴者の場合には、安全ベルト等への軽微な擦れで皮膚が破けてけがをする恐れがあります。
入浴中や入浴後はさらに皮膚が柔らかくなってけがをしやすくなりますので皮膚の弱い入浴者の場合はベルトとの接触部分にタオル等を巻いてください。

⚠注意

安全ベルトの損傷に注意

ほころび始めたり、切れかかってきたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。また、ほころびた部分で皮膚が傷つく場合がありますので注意してください。

担架マットの損傷に注意

- マット止めの穴と差込凸部が合っていない状態で無理に押し込むと、マットの差込凸部が損傷する恐れがあります。
- 古くなって破れたり、マット裏面の差込凸部が取れてしまったら、新しいものと交換してください。

サイドフェンス・手すり

⚠ 警告

担架に乗せたら、上肢・下肢両方のサイドフェンスを起こしてロック確認

ロックが不十分だと、落下の恐れがあります。

下肢用サイドフェンスを外側に倒してトランスファーボードとして使用するときは、相手側の支持が安定していることを確認

下肢用サイドフェンスの上部がしっかりとベッドに載っていないと、落下の恐れがあります。

担架に乗せたら、必ず手すりを握らせる

握っていないと上肢が担架の外側に出てけがをする恐れがあります。握れない入浴者の場合には、上肢を保持するベルトなどを用いるなどして、上肢が担架の外側に出ないようにしてください。

⚠ 注意

上肢用または下肢用サイドフェンスを操作するときは入浴者に注意

セットしたり、戻したりするときに、入浴者に当てたり、手や指が挟まれたりすると、けがをすることがあります。

手すりと上肢用サイドフェンスを操作する順番に注意

順番を間違えると、機器の故障の原因になります。

- 倒すとき…手すり→上肢用サイドフェンスの順
- 起こすとき…上肢用サイドフェンス→手すりの順

背もたれ・下肢部

⚠ 警告

背もたれがロックされていることを確認

手動で背もたれを起こしたときは、背もたれに上方から力を加えてしっかりとロックされていることを確認してください。

リクライニング時に背もたれの横行ロック解除レバーに触れない

担架移動を行うためのロック解除レバーです。間違って操作すると担架が落下する恐れがあります。

リクライニングするときは、入浴者の状態に注意

入浴者が乗った状態でのリクライニングは十分注意してください。急激にリクライニングを水平にすると、頭を強打することがあります。また、サイドフェンスや担架フレームとの間に、入浴者の手が挟まれると、けがをすることがあります。

⚠ 注意

下肢屈曲部を水平に戻すときは手指に注意

サイドフェンスとの間に手や指が挟まれると、けがをすることがあります。

浴中以外では、下肢屈曲部を持ち上げない

浴中で浮力を利用すれば簡単に操作できますが、それ以外の場所で操作すると指を挟んだり、入浴者にショックを与えたりする恐れがあります。

担架の移動

⚠ 警告

担架を少し移動したら、必ず横行ロック解除レバーから指を離す

レバーを持上げたまま移動すると、担架がロックされず、担架ごと落下する恐れがあります。

担架を移動するときは、レールの位置が上下、左右とも同一線上にあることを確認

担架が脱落するなど思わぬ事故が発生する他、機器の破損の原因になります。

担架を移動したらロックを必ず確認

担架が落下する恐れがありますので、担架を押し引きしてしっかりロックされていることを確認してください。

⚠ 注意

担架を移動するときは、挟み込みに注意

- 担架をストレッチャー・洗浄台または浴槽へ移動する際には、担架の裏側に手を入れると、手が挟まれけがをすることがあります。
- 入浴者の手足が担架からはみ出していると、手や足が挟まれけがをすることがあります。

担架の移動は、ゆっくりと

入浴者に不安感を与えないようにゆっくり行ってください。特に、繰り返し強い力で担架を押して手を離したりすると、担架ロックピンが破損して担架落下の原因になったり、入浴者に衝撃を与え不安になりますので、必ず最後まで手を添えて担架移動を行ってください。

担架上の作業

⚠ 警告

担架上で入浴者の姿勢を変えるときは、手足の指に注意

手足の指が担架の隙間等に挟まっていないか確認してください。挟まったままで姿勢を変えたりするとけがをする恐れがあります。特に足先が拘縮や麻痺で変形している人には注意が必要です。

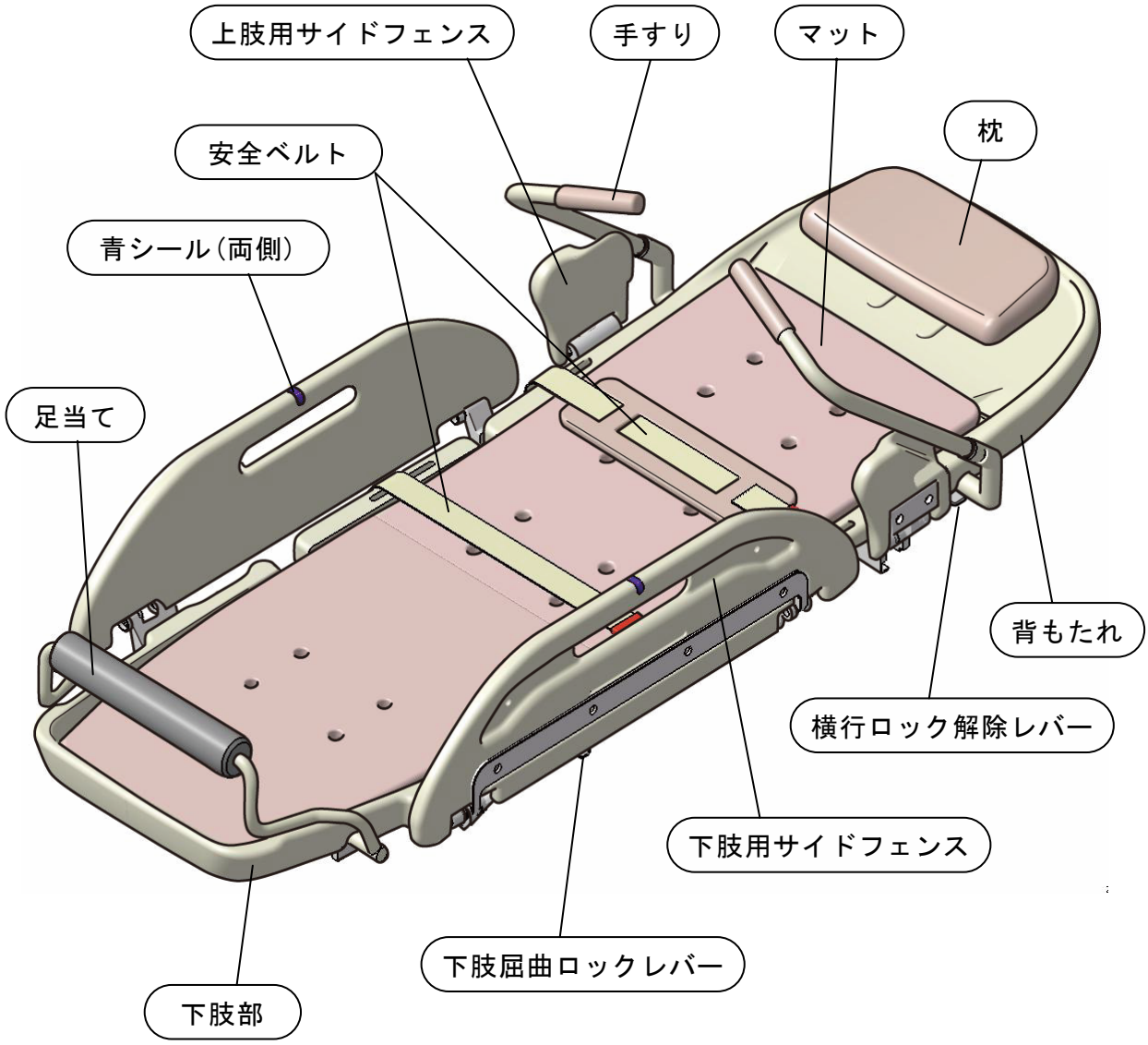
入浴者には絶対に横行ロック解除レバーに触れさせない

担架上で洗身や清拭などの作業を行なって入浴者が横向きになったとき、あるいは移乗時入浴者が担架の端に腰掛けたときなど、入浴者の手が横行ロック解除レバーに近いときは、入浴者の手に注意をしてください。入浴者が横行ロック解除レバーに触れると、ロックが解除されて、担架がストレッチャーから落下し、けがをする恐れがあります。

担架上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意

狭い担架上での移乗・洗髪・洗身作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。体位変換作業は、必ずサイドフェンスを起こしたまま行い、入浴者の落下を防止しながら十分注意して作業をし、洗身時はベルトを使用してください。

各部の名称


上肢用サイドフェンス
手すり
マット
枕
安全ベルト
青シール（両側）
足当て
背もたれ
横行ロック解除レバー
下肢用サイドフェンス
下肢屈曲ロックレバー
下肢部

ご使用になる前に

ご使用前に本製品についてP.16の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

適用製品

本製品は、当社浴槽『ロベリア』(ROB-370)専用の担架で、専用のストレッチャー(ST-370,380)に乗せて移動します。

必ず専用の浴槽・ストレッチャー・洗浄台(NW-370)と組み合わせてご使用ください。

入浴の操作方法

浴槽・ストレッチャー・洗浄台の操作方法及び入浴手順については、各々の取扱説明書を十分に読んでからご使用ください。

●ご使用中に…

万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

操作方法(各部)

安全ベルト

担架へ入浴者を移乗させたら安全ベルトのバックルをはめ、入浴者に合わせ、長さを調節します。腹部と下肢部の２か所のベルトを着用して調節してください。

警告　・担架に乗せたら、必ず２本の安全ベルトを使用する

ベルトをしないと、入浴者が担架から落下してけがをする恐れがあります。

・安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

ベルトを外すと入浴者が落下する恐れがあります。

注意　　安全ベルトの損傷に注意

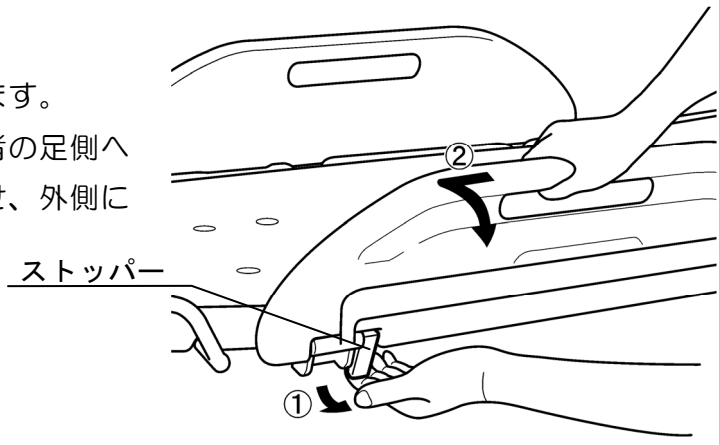
下肢用サイドフェンス

移乗は片側のサイドフェンスを倒して行います。移乗と反対側は倒さないでください。

解除

1　ストッパー下側を手前に引きます。

2　引いたまま、反対の手で入浴者の足側へサイドフェンスをスライドさせ、外側に倒します。



ロック

起こすと固定されます。

・誤って下肢用サイドフェンスを下側へ押しても、ストッパーがあるのでスライドしません。

・下肢用サイドフェンスをベッドの縁に倒してトランスファーボードとしても使用することができます。

警告　・担架に乗せたら、下肢用サイドフェンスを起こし、力を加えてロック確認

・下肢用サイドフェンスをトランスファーボードとして使用するときは、相手側の支持が安定していることを確認

注意　下肢用サイドフェンスを操作するときは入浴者に注意

上肢用サイドフェンス　手すり

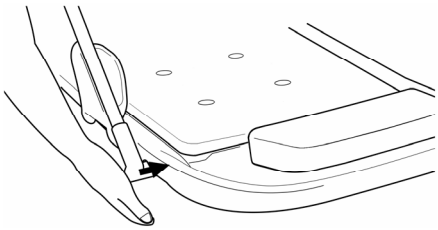
移乗は片側のサイドフェンスと手すりを倒して行います。移乗と反対側は倒さないでください。

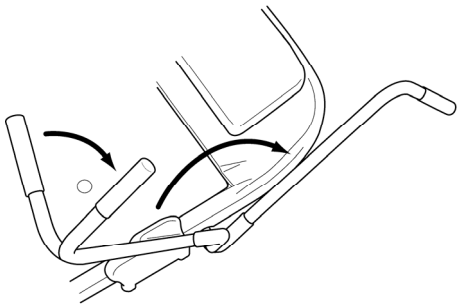
解除

1 手すりのつけ根部を内側へ押します。

2 グリップを外側に回転させたまま、枕側に倒します。

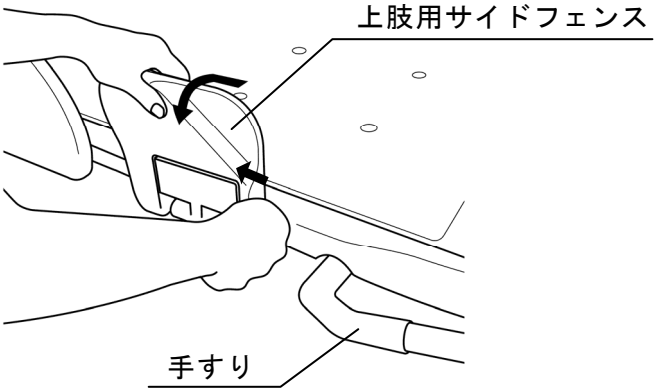
ご注意　グリップを外側に回転させ手を離すと、内側に戻ってしまいます。





3 上肢用サイドフェンス全体を入浴者の足側へスライドさせます。

4 サイドフェンスを外側に倒します。



ロック

1 サイドフェンスを起こすと固定されます。

警告　**担架に乗せたら、上肢用サイドフェンスを起こしてロック確認**

2 手すりのグリップを外側に回転させ、手すりを元の位置に戻します。

警告　**担架に乗せたら、必ず手すりを握らせる**

◎上肢用サイドフェンスは手すりの内側に装備されています。手すりを倒してから、サイドフェンスを倒してください。誤って先に上肢用サイドフェンスの固定を解除しても手すりに当たり、倒れません。

注意　**・手すりと上肢用サイドフェンスを操作する順番に注意**

・手すりや上肢用サイドフェンスを操作するときは入浴者に注意

背もたれのリクライニング

✹ 自動リクライニング

背もたれを水平にすると、浴槽の昇降に連動して自動的に背もたれが起きたり倒れたりします。（最大 22°）

ご注意 自動リクライニングで入浴した場合でも、背もたれに寄りかからないような姿勢で入浴しますと、浮力により出浴時に背もたれが起きたままの状態になることがあります。

✹ 手動リクライニング

起こす

1 頭部側の側面を持って背もたれを起こします。

> ⚠ **警告 ・リクライニングするときは横行ロック解除レバーに触れない**
> 誤って触れると担架が落下する恐れがあります。
> **・リクライニングするときは入浴者の手が挟まれないように注意**

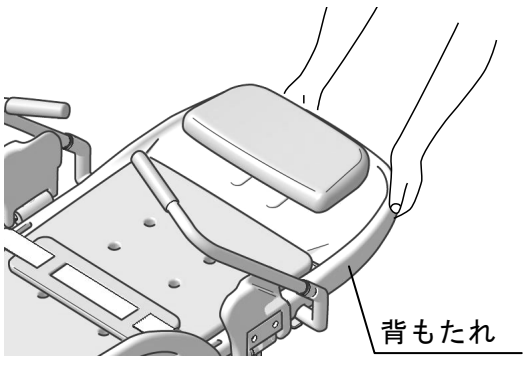
2 いっぱいに起こした後に少し戻すとロックされます。

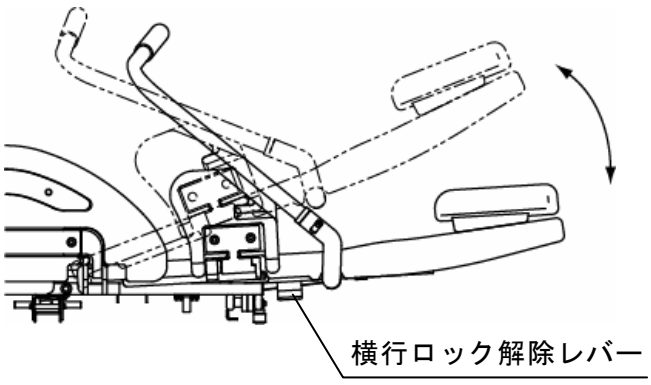
> ⚠ **警告 背もたれがロックされていることを確認**
> 背もたれに上方から力を加えて確認してください。

倒す

頭部側の側面を握り、少し持ち上げてからゆっくり下ろします。

> ⚠ **警告 入浴者の上体が乗った状態で急激に倒さない**
> 頭を強打することがあります。

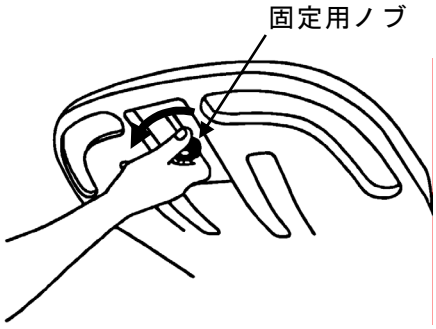




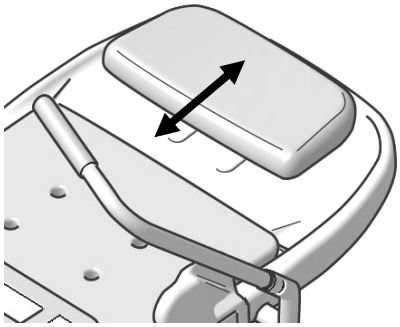
枕

✹ 位置調節

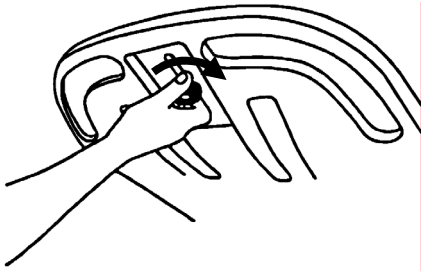
1 背もたれ裏側の枕の固定用ノブを緩めます。



2 入浴者の頭の位置に合せて、枕の位置を調節します。



3 位置を決めたら固定用ノブを締め枕を固定します。



✹ 枕の着脱

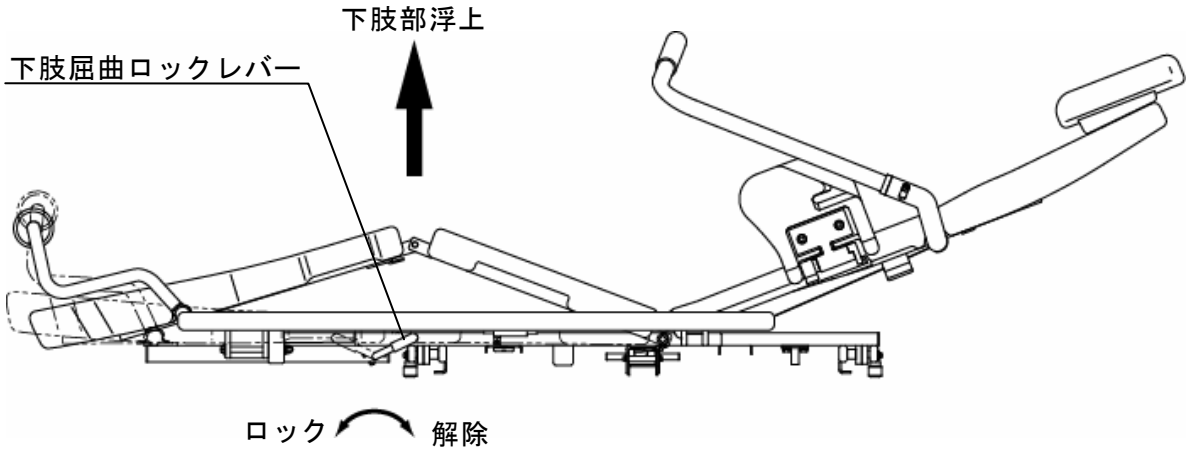
固定用ノブを完全に緩めて外すと、枕を取り外すことができます。

ご注意　固定用ノブを外す際は、ノブの紛失にご注意ください。

下肢部の屈曲

入浴すると浮力で下肢部が屈曲して、入浴者が下方にずれるのを防止します。担架が湯から出ると下肢部は水平に戻ります。

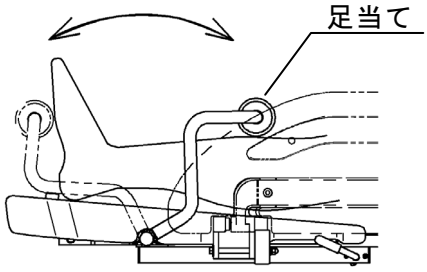
下肢部両脇の下肢屈曲ロックレバーを足側に倒すと、下肢部が屈曲しないようにロックできます。



注意　・下肢部の屈曲を水平に戻すときは手指に注意
・浴中以外では持ち上げない

足当て

下肢の浮き上がり防止として、または下方へのずれ防止として使用します。

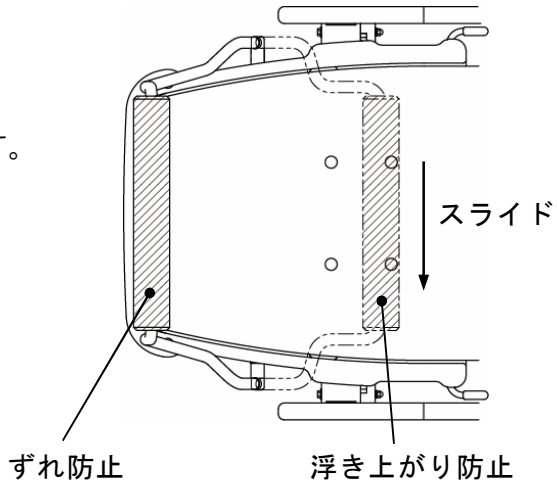


● ずれ防止　⇒　浮き上がり防止

ロックされる位置まで頭側に回転させます。

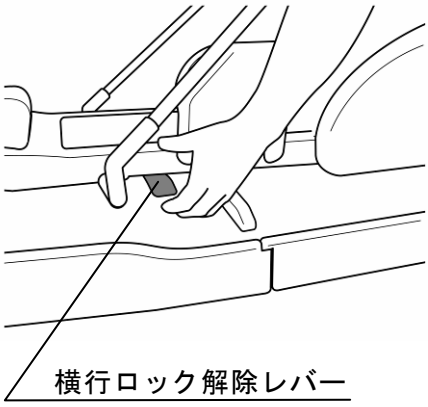
● 浮き上がり防止　⇒　ずれ防止

足当て全体を横へスライドさせたまま、足側へ回転させます。



担架の移動

担架をストレッチャー，洗浄台または浴槽へ移動します。



1 横行ロック解除レバーを持ち上げながら、少し移動し、レバーから指を離します。

警告 ・担架を少し移動したら、必ず横行ロック解除レバーから指を離す

レバーを持ち上げたまま移動すると担架が落下する恐れがあります。

・担架を移動するときは、移動先のレールの位置が上下、左右とも同一線上にあることを確認

2 片手でサイドフェンス、もう一方は背もたれを持ちます。

3 担架がロックされる位置まで移動します。

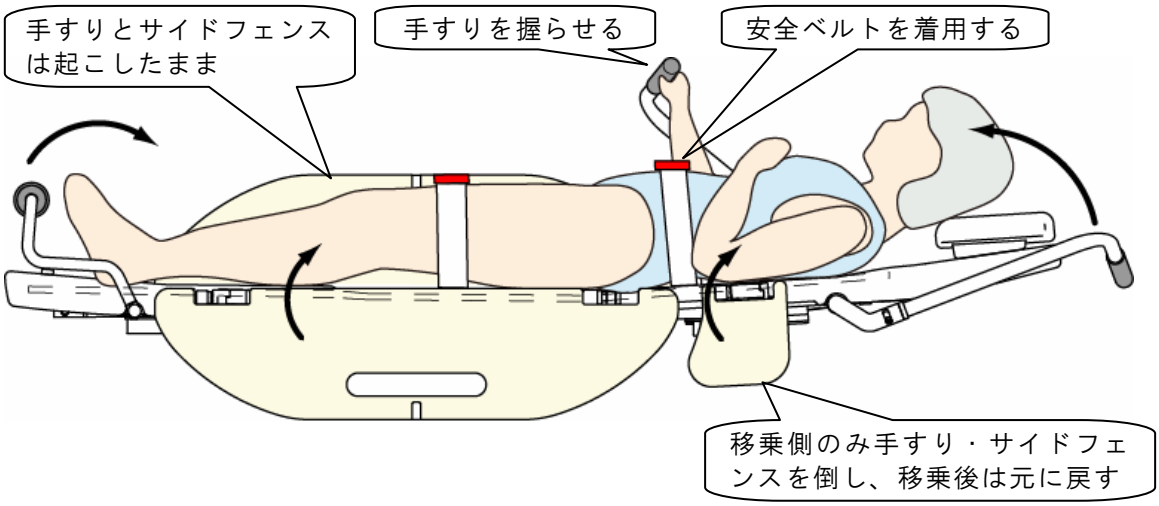
注意 ・担架を移動するときは、挟み込みに注意

・担架の移動は、手を添えてゆっくり行う

担架上の作業手順と注意点

担架へ入浴者を移乗させるとき

1 担架を乗せたストレッチャーを平らな安全な床面に停止させキャスターのロックを掛けます。
2 移乗はリクライニングを倒した状態（ほぼ水平）で行います。
3 移乗する側の手すりを枕側に倒し、サイドフェンスを倒します。移乗と反対側の手すりとサイドフェンスは、起こしたままにして入浴者の転倒・落下に注意しながら作業をします。
4 移乗後は、安全のため必ず安全ベルトを着用して、サイドフェンス・手すり・足当てを元に戻してから担架移動とストレッチャーの移動をします。



担架上で洗髪・洗身を行うとき

1 担架を乗せたストレッチャーを平らな安全な床面に停止させキャスターのロックを確認します。
2 狭い担架上での体位変換作業は、必ずサイドフェンスを起こしたまま行い、入浴者の落下を防止しながら注意深く作業します。
3 安全ベルトは、少し余裕をもった長さに調節して、必ず着用します。

警告　担架上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意
狭い担架上での作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。十分注意して作業を行ってください。

日常のお手入れ

清掃

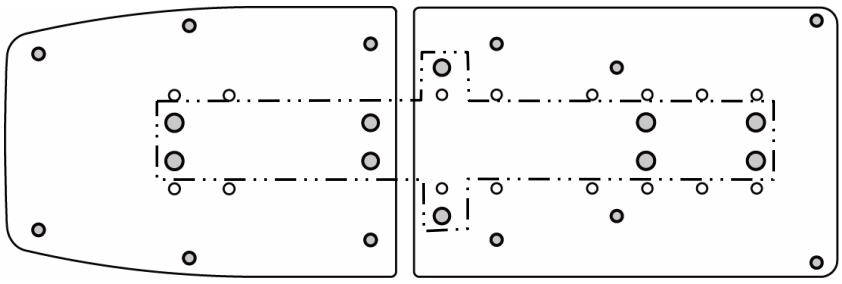
- マット・安全ベルトは取り外して洗浄し、乾燥させてください。
- ステンレス部は水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなります。乾いた布で水滴をきれいに拭きとってください。
- 使用後はマットを外し、乾いた布で担架面(プラスチック)の水滴をきれいに拭きとってください。
- 担架面が黒ずんだ場合は、市販の液体クレンザーで、表面を洗浄してください。

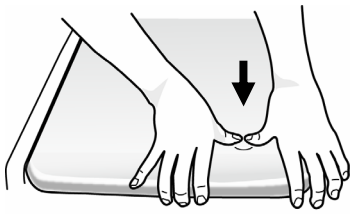
マットの着脱

着ける

マット表面のふくらんでいる部分（下図 ●印の部分）の裏側に差込凸部があります。マットを担架に乗せて、マット止めの穴と差込凸部が合っていることを確認してから、マットの表面から差込凸部分を押して、穴にしっかり差し込みます。

差込凸部は、┌┐ 部の大きい凸部を入れた後に、周りの小さい凸部の順番で入れます。





⚠ 注意　マットの損傷に注意

参考　マットが入りにくい場合、シャワー等でマット裏面の差込凸部、又は担架のマット止め穴をぬらすと入りやすくなります。

外す

マット裏の差込凸部の両側を両手で持つようにして、マット止めの穴から一つずつゆっくり外します。

⚠ 注意　マットの損傷に注意

機器の保守・点検について

・本製品をご使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検（日常点検）を実施してください。
・長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
・**点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
・清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施する様お願いいたします。

● 始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	マットの破れ	・目視
	安全ベルトのほつれ バックルの破損	・目視
機能	ストレッチャー上、洗浄台上、浴槽上での横行ロックの確認	①横行ロック解除レバーを持ち上げながらロックを解除して担架を 20 ㎝程度スライド ②解除レバーから手を離した状態で担架を元の位置にスライドさせてロック ③担架を前後に押し引きしてロックが外れないか確認
	ストレッチャー(洗浄台)上からの脱落防止確認 (ST-370,380,NW-370 使用時)	・ストレッチャー(洗浄台)単独のとき、ストレッチャー(洗浄台)のスライドストッパーが働き、担架をスライドできないことを確認 ・浴槽とストレッチャー(洗浄台)または洗浄台とストレッチャーを連結したとき、担架をスライドさせ、浴槽・ストレッチャー・洗浄台間をスライドできること、 及び担架をストレッチャー（洗浄台）に戻すとき、担架が手前側に脱落しないことを確認
	手動リクライニングのロック	・背もたれを持ち上げてロックさせ、力を加えてロックが外れないか確認

● 定期保守点検契約のお勧め

・製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

✹ 保証書と保証期間

- 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレームは 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

✹ 修理を依頼される場合

・修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

機種名　　：　*WS-370*

お買い上げ：　　年　月　日

故障状況(できるだけ詳細に)

住所，氏名，電話番号

・メーカーより指示のあるとき以外は、機器を分解したりしないでください。

✹ 耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

✹ 損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

・正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。

担架マット / 安全ベルト / 枕

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

✹ 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕 様

型　　式			ＷＳ-370
担架	外形寸法		1945(Ｌ)×700(W)×275(Ｈ)㎜
	質　　量		約 40 kg
	最大搭乗質量(入浴者)		100kg
	材質	フレーム	ステンレス･一部粉体塗装仕上
		担架面	プラスチック
		手すり	ステンレス･一部粉体塗装仕上、プラスチック
		サイドフェンス	プラスチック
		足当て	ステンレス･一部粉体塗装仕上、プラスチック
		マット	プラスチック（ポリエチレン）
	機能	安全ベルト	2 本
		手すり	回転ロック式
		サイドフェンス	上肢用､下肢用
		足当て	浮き上がり防止兼用
		枕	上下調節式
		下肢部	屈曲式
		背もたれ	リクライニング式(自動､手動)

注)都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。